

2022年度「ベスト・プレゼンテーション賞」選考結果

プログラム委員会

ベスト・プレゼンテーション賞は、研究大会における口頭発表の中から、優れた発表者を選び表彰するものです。

発表者は、口頭発表では、決められた時間の中で、研究の内容を正確に伝え、また、聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし、説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること、さらにその技能の向上を目指してこの賞を設けました。

2022年度は、学生・大学院生としての所属を明示した登壇発表者を対象に、研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づき、プログラム委員の合議により、以下の通り授賞者を選出しました。

2022年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者

東山由依君（慶應義塾大学大学院）

発表題目：

プログラムから見た学校図書館活動:米国学校図書館員協会賞受賞校を対象として

研究対象となるアメリカの学校図書館学区の学校図書館プログラムについて、ウェブサイト調査と文献調査に基づいて幅広く把握した上での分析を提示していたこと、スライドを見やすく構成していたこと、話し方が明瞭で質疑応答が的確であったことなど、プレゼンテーションの技法と態度において優れていたものと評価されました。研究内容については、今後さらに深めることを期待します。